

2023 年度
病院経営定期調査 概要版
－中間報告（集計結果）－

2023 年 10 月 10 日



一般社団法人 日本病院会



公益社団法人 全日本病院協会



一般社団法人 日本医療法人協会

目次

I. はじめに	3
II. 調査概要	4
III. 回答病院の属性	5
(1) 有効回答数の経年比較	5
IV. 集計結果とまとめ	6
V. 医業損益の2年連続比較	7
1. 年度比較(2021年度/2022年度)	7
(1) 医業損益への影響(全病院)	7
(2) 病床区分別の医業損益	8
(3) 開設主体別 医業損益	8
2. 医業損益の前年同月比較(2022年6月/2023年6月)	9
(1) 医業損益への影響(全病院)	9
(2) 病床区分別の医業損益	10
(3) 開設主体別 医業損益	10
VI. 5年連続比較《参考》	11
1. 延患者数、診療単価、診療収益(新型コロナウイルス感染拡大による影響)	11
(1) 延患者数の対前年比 同月比較	11
(2) 一人一日あたりの診療収入(単価)の対前年比 同月比較	11
(3) 一病院あたりの診療収益の対前年比	11
(4) 5年連続同月比較 医業利益、経常利益(新型コロナウイルス感染拡大による影響)	12
2. 医業損益(新型コロナウイルス感染拡大による影響)の年度比較	12
(1) 5年連続年度比較 医業利益、経常利益 年度比較	12
(2) 一病院あたりの損益	13
VII. 診療収益・診療単価・延患者数の前年同月比較(2022年6月/2023年6月)	13
(1) 一病院あたりの診療収益の前年比	13
(2) 一人一日あたりの診療単価の前年比	13
(3) 延患者数の前年比	14
VIII. その他	14
(1) 水道光熱費等の比較(2021年度および2022年度)	14
(2) 水道光熱費等の比較(2022年および2023年度4月～6月分)	15
IX. 名簿	16

I. はじめに

日本病院会、全日本病院協会及び日本医療法人協会の3団体は、診療報酬改定が与える影響を調査・検証し、会員病院の運営に資することを目的として合同で実施しています。

上記3団体では、病院における「診療の質」と「経営の質」を大きな柱として、様々な事業に取り組んでいます。なかでも、経営の質については経営指標となるデータの収集と分析、病院機能別の経営状況の把握、さらには病院経営に対する幅広い課題への対応に努めています。

2023年度の病院をとりまく経営環境について、新型コロナウイルス感染拡大による影響は、コロナ関連の補助金などによって支援されたものの、社会保障費の圧縮や医師の働き方改革などの課題に加え、電気料金の高騰などの影響もあり、病院経営における収益環境は厳しさを増したものでした。また、病院を標的としたサイバー攻撃の発生は、医療現場の運営に影響をきたす事態になりかねない危険もあります。

医師の働き方改革による労働時間の制約を受け入れ、医療材料等の値上げによる環境も乗り越えていかなければなりません。個々の病院の受ける影響は異なると思われますが、方向性を誤ると経営が悪化する恐れも出てくることとなり、まさに気を緩めることができない状況にあります。

さて、病院団体合同調査ワーキンググループでは、会員病院にアンケートをお願いし寄せられたデータを分析検討しました。基本的には、昨年（2022年）と本年（2023年）の比較になります。ただし、コロナ禍の影響が大きく真の病院経営の実態が分かり難い結果となっていることは否めません。病院現場の実態を明らかにできるものとして、ここに速報として「中間報告（概要版）」の集計結果を公表します。

ご多忙のところアンケートにご協力いただきました病院様、ご担当者の皆様にお礼申し上げます。

病院団体合同調査ワーキンググループ 委員長 島 弘志

Ⅱ. 調査概要

- 調査目的：診療報酬改定が病院運営に与える影響を検証し、会員病院の運営に資することを目的とする。
- 調査方法：日本病院会、全日本病院協会及び日本医療法人協会に加盟する全病院に、診療収入等についてEメール又はFAX等による調査票配布により実施、回収を行った。
- 調査期間：2023年7月7日～8月18日※本中間報告書は、9月6日提出分までを集計。現在、10月6日まで回答期限延長中。
- 主な調査項目：2021年・2022年の各6月の診療収益、一人一日あたりの診療収入、延患者数、診療行為別点数等の前年同月比較、医業損益のみ各4月～6月の前年比較。2021年度～2022年度の医業損益等の通年比較 等。
- 回答数：999病院（回答率：22.5%）
有効回答数：964病院

- 図表中の数値は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示している。このため、百分率の合計が100.0%にならないことがある。
- 有効回答として、診療収入、診療単価、延患者数の計算に必要な【1. 基本情報】【2. 施設基準、病院機能等】【3. 患者統計、診療単価】がすべて入力されているものについて集計を実施した。
なお、許可病床数の2021年6月1日／2022年6月1日比が20%以上の変動増減がある病院については、収益に直接的に影響の無いと考えられる設問のみ集計を実施した。また、月次の医業損益に関する任意回答として2021年、2022年の各6月に各4月、5月を加えて、高騰する水道光熱費等の3か月比較を追加した。さらに新型コロナ感染拡大の影響をみるため、4年連続比較に直近1年を加え、5年連続で2018年度～2022年度の損益年度比較、2019年～2023年の各6月の診療収益、診療単価、延患者数、経常利益、医業利益について集計を実施した。今年度調査の主な構成は、以下のとおり。
1. 基本情報 2. 施設基準、病院機能等 3. 患者統計、診療単価 4. 診療報酬点数行為別内訳
5. 損益等 等々
- 開設主体
国：厚生労働省 独立行政法人国立病院機構 国立大学法人 国立研究開発法人
独立行政法人労働者健康安全機構 独立行政法人地域医療機能推進機構
自治体：都道府県 市町村 地方独立行政法人
その他公的：日赤 済生会 北海道社会事業協会 厚生連 健康保険組合及びその連合会
国民健康保険組合 共済組合及びその連合会
医療法人：医療法人 特定医療法人 社会医療法人
その他私的：公益法人 私立学校法人 社会福祉法人 医療生協 会社 その他の法人 個人
- 病床区分
一般：一般病床 80%以上
療養・ケアミックス：療養病床 80%以上、または一般病床＋療養病床が 80%以上
精神：精神病床 80%以上
その他：上記以外

Ⅲ. 回答病院の属性

（１）有効回答数の経年比較

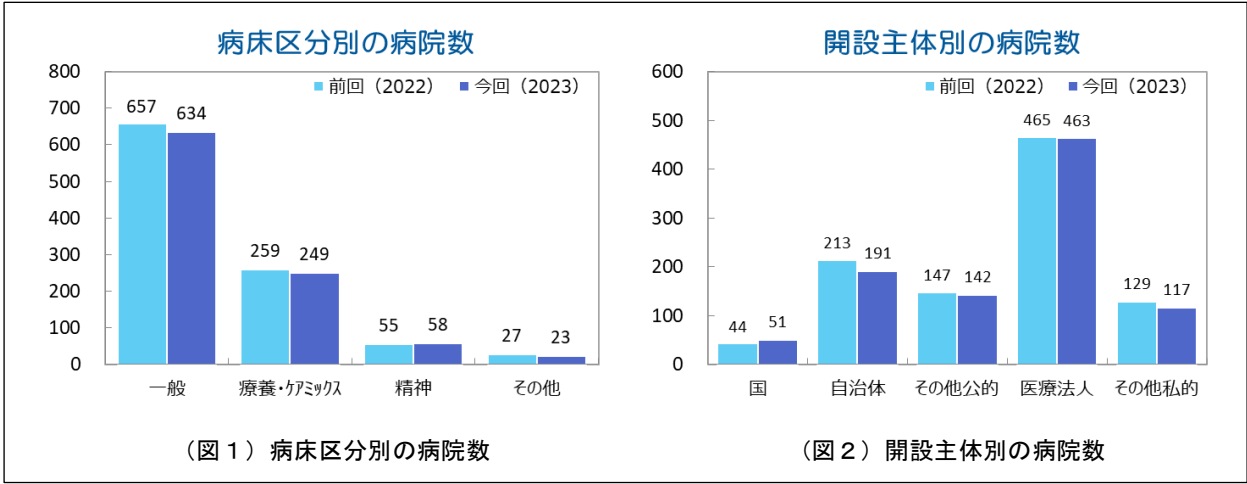
2023 年度調査の全回答病院数は 999 病院、うち有効回答数は 964 病院であり、実働病床数による病床規模別に有効回答数を 2022 年度および 2023 年度調査と比較した。200～299 床での減少が大きく、全体では 34 病院の減少となった。病床規模別有効回答数の比較では、100～199 床が 30.7%と最も多くを占めた。（表 1）。

病床区分別の割合では、一般が 65.8%を占めており、続いて療養・ケアミックスが 25.8%であった（図 1）。

開設主体別の割合では、医療法人が 48.0%を占め、次に自治体、その他公的と続いた。それら 3 つの合計は全体の 82.6%を占めていた（図 2）。

（表 1）有効回答の病床規模別件数

	2022年度		2023年度		前年度との比較	
	有効回答数	割合	有効回答数	割合	回答数増減	増減比率
20～99床	146	14.6%	147	15.2%	+1	+0.7%
100～199床	305	30.6%	296	30.7%	-9	-3.0%
200～299床	150	15.0%	130	13.5%	-20	-13.3%
300～399床	140	14.0%	149	15.5%	+9	+6.4%
400～499床	100	10.0%	96	10.0%	-4	-4.0%
500床～	157	15.7%	146	15.1%	-11	-7.0%
合計	998	100.0%	964	100.0%	-34	-3.4%



IV. 集計結果とまとめ

新型コロナウイルス感染拡大は病院経営に大きな影響を及ぼし、感染拡大中の直近 2 期の比較ではその評価が不十分であることから、本報告書では任意の調査項目ではあるが《参考》として、感染拡大前の 2019 年 6 月から拡大後の 2023 年 6 月までの 5 年連続同月比較、2018 年度から 2022 年度に至る 5 年連続年度比較を実施した。

なお、調査項目は 2022 年に引き続き「コロナ関連緊急包括支援事業 補助金」ならびに「コロナ関連の補助金を除く経常利益」を加え、さらには電気料金をはじめとする水道光熱費等の高騰問題に対応するため、2023 年 3 月に実施した医療機関経営状況調査と同様に医業損益の科目に水道光熱費等を追加し、あわせて 2022 年、2023 年の各 4 月～6 月の医業損益について調査を行った。

2021 年度、2022 年度の医業損益比較をみると、2022 年度の医業利益は 100 床あたり平均で -21,504 万円となり、赤字額の拡大がみられた。医業利益の赤字病院割合は 2 年続けて 60%を超え、2022 年度は 74.2%に上っていた。コロナ関連の補助金等により経常利益は黒字に転化していたが黒字額は縮小し、補助金を除くと依然赤字基調が続いている。

また、2018 年度～2022 年度の 5 年連続年度比較について 101 病院の追跡調査をみると、医業利益の赤字病院割合は 2018 年度の 64.4%から 2020 年度、2022 年度に 84.2%に拡大していた。

経常利益とコロナ関連補助金を除いた経常利益の黒字病院割合を比較すると、2020 年度 70.3%と 26.7%、2021 年度 83.2%と 41.6%、2022 年度 82.2%と 29.7%となり、3 年続けて両者の間に 40 ポイント以上の乖離がみられた。

《医業損益に関する調査結果》

※（ ）内は、コロナ関連の補助金を除いた経常利益額、経常利益の赤字病院の割合

* 年度比較（2021 年度／2022 年度）稼働 100 床当たり

- ▼ 医業利益 -17,738 万円 から -21,504 万円に赤字が拡大した。
- ▼ 経常利益 21,366 万円（-4,407 万円※） から 12,810 万円（-8,097 万円※） に黒字が縮小し、コロナ関連の補助金を除くと赤字であった。
- ◆ 医業利益 赤字病院の割合 67.2%から 74.2%に 7.0 ポイント増加した。
- ◆ 経常利益 赤字病院の割合 17.8%（53.5%※） から 23.1%（63.2%※） に 5.3 ポイント増加した。

* 前年同月比較（2022 年 6 月／23 年 6 月）稼働 100 床当たり

- ▼ 医業利益 -1,810 万円 から -2,217 万円 に赤字が拡大した。
- ▼ 経常利益 -1,258 万円（-1,348 万円※） から -1,802 万円（-1,836 万円※） に赤字が拡大した。
- ◆ 医業利益 赤字病院の割合 67.2%から 74.2%に 7.0 ポイント増加した。
- ◆ 経常利益 赤字病院の割合 55.9%（58.2%※） から 65.6%（67.0%※） に 9.7 ポイント増加した。

V. 医業損益の2年連続比較

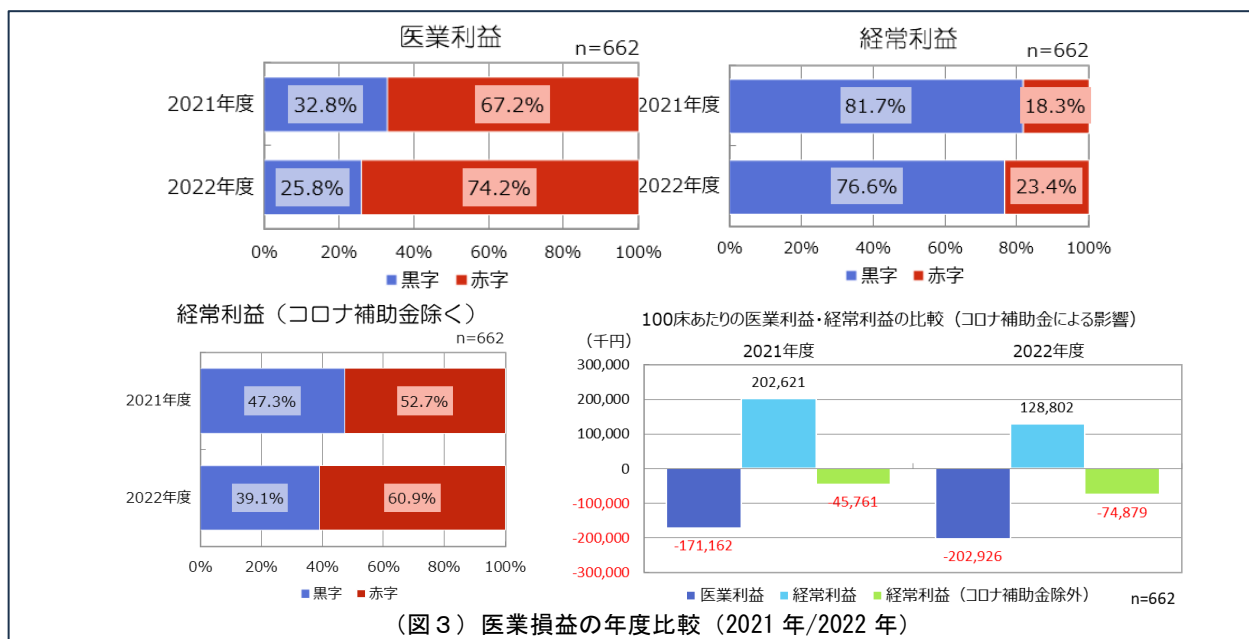
1. 年度比較（2021年度／2022年度）

（1）医業損益への影響（全病院）

医業利益における赤字病院割合は、2021年度の67.2%から22年度には74.2%に7.0ポイント増加していた。経常利益は、2022年度の黒字病院割合が76.6%、一方、赤字病院割合は2021年度の18.3%から2022年度には23.4%へと5.1ポイント増加していた。コロナ関連の補助金を除く経常利益の赤字病院割合は、2021年度52.7%、2022年度60.9%へと経常利益の赤字病院割合に比べて大幅な増加がみられた（図3）。

2022年度の100床あたり医業利益が－20,292万円の赤字に対して、経常利益は＋12,880万円の黒字に転じ、コロナ関連の補助金を除く経常利益では－7,487万円の赤字であった（表2）。

また、医業収益の内訳では、入院＋2.8%、外来＋3.3%の増収であった。医業費用では、経費＋10.7%の増加率が顕著であり、内訳では水道光熱費＋39.8%（電気料金＋48.6%、ガス料金49.3%）であった。また医薬品費＋5.6%の増加率も高かった。一方、医業外収益－9.9%の内訳をみると運営費補助金－10.9%、施設設備補助金－15.5%と減少していた（表3）。



科目 (単位：千円)	全病院 (n=662) 平均病床数：306					2022年度 黒字病院 (n=507) 平均病床数：323					2022年度 赤字病院 (n=155) 平均病床数：250				
	2021年度	2022年度	差引増減	前年比		2021年度	2022年度	差引増減	前年比		2021年度	2022年度	差引増減	前年比	
①医業収益	2,597,395	2,668,785	71,389	2.7%		2,648,432	2,730,912	82,479	3.1%		2,381,386	2,405,839	24,453	1.0%	
②医業費用	2,768,557	2,871,711	103,154	3.7%		2,787,460	2,894,023	106,563	3.8%		2,688,550	2,777,275	88,725	3.3%	
③医業利益 (①-②)	-171,162	-202,926	-31,764			-139,028	-163,112	-24,084			-307,164	-371,436	-64,272		
④医業外収益	433,511	390,776	-42,735	-9.9%		440,743	401,831	-38,913	-8.8%		402,900	343,988	-58,912	-14.6%	
⑤医業外費用	59,728	59,048	-680	-1.1%		56,464	54,710	-1,755	-3.1%		73,541	77,410	3,869	5.3%	
⑥経常利益 (①+④) - (②+⑤)	202,621	128,802	-73,819			245,251	184,009	-61,242			22,195	-104,858	-127,053		
コロナ関連の補助金を除く経常利益 (⑥-⑦)	-45,761	-74,879	-29,118			-18,685	-38,706	-20,021			-160,360	-227,978	-67,618		
医業利益率 (③÷①)	-6.6%	-7.6%				-5.2%	-6.0%				-12.9%	-15.4%			
経常利益率 (⑥÷①)	7.8%	4.8%				9.3%	6.7%				0.9%	-4.4%			
⑨補助金 (運営・施設・その他) ※1	315,986	279,010	-36,976	-11.7%		328,348	292,407	-35,940	-10.9%		263,666	222,306	-41,360	-15.7%	
⑩補助金を除く医業外収益 ※2 (④-⑨)	117,525	111,766	-5,759	-4.9%		112,396	109,423	-2,972	-2.6%		139,234	121,682	-17,552	-12.6%	
⑪損益差額 ※3 (③+⑩-⑤)	-113,365	-150,208	-36,843			-83,097	-108,398	-25,301			-241,471	-327,164	-85,693		
⑦コロナ関連 緊急包括支援事業 補助金	248,383	203,681				263,936	222,715				182,554	123,120			
⑧水道光熱費 補助金	16	2,039				20	2,032				1	2,066			

（表2）全病院の医業損益・100床あたりの平均

科目 (単位：千円)	全病院 (n=662) 平均病床数：306				2022年度 黒字病院 (n=507) 平均病床数：323				2022年度 赤字病院 (n=155) 平均病床数：250			
	2021年度	2022年度	差引増減	前年比	2021年度	2022年度	差引増減	前年比	2021年度	2022年度	差引増減	前年比
① 医業収益	2,597,395	2,668,785	71,389	2.7%	2,648,432	2,730,912	82,479	3.1%	2,381,386	2,405,839	24,453	1.0%
入院診療収入	1,707,621	1,755,964	48,343	2.8%	1,746,785	1,804,158	57,373	3.3%	1,541,863	1,551,989	10,125	0.7%
室料差額収益	33,551	32,922	-629	-1.9%	34,481	33,975	-506	-1.5%	29,615	28,463	-1,152	-3.9%
外来診療収入	776,363	801,872	25,509	3.3%	787,770	814,084	26,313	3.3%	728,084	750,189	22,105	3.0%
その他医業収入	79,860	78,026	-1,834	-2.3%	79,396	78,694	-702	-0.9%	81,824	75,199	-6,625	-8.1%
② 医業費用	2,768,557	2,871,711	103,154	3.7%	2,787,460	2,894,023	106,563	3.8%	2,688,550	2,777,275	88,725	3.3%
材料費	759,555	793,384	33,829	4.5%	776,161	811,659	35,497	4.6%	689,270	716,038	26,767	3.9%
医薬品費 (再掲)	448,568	473,577	25,009	5.6%	456,820	482,632	25,811	5.7%	413,642	435,255	21,612	5.2%
診療材料費 (再掲)	285,238	293,224	7,986	2.8%	292,616	301,494	8,878	3.0%	254,013	258,222	4,209	1.7%
給与費	1,356,204	1,396,791	40,587	3.0%	1,361,262	1,405,829	44,567	3.3%	1,334,796	1,358,540	23,744	1.8%
委託費	196,073	200,082	4,009	2.0%	194,496	199,207	4,710	2.4%	202,745	203,785	1,040	0.5%
設備関係費	247,107	251,725	4,617	1.9%	248,324	251,928	3,604	1.5%	241,959	250,865	8,905	3.7%
減価償却費 (再掲)	165,076	166,965	1,889	1.1%	164,539	165,847	1,309	0.8%	167,352	171,697	4,345	2.6%
研究研修費	5,666	7,031	1,365	24.1%	5,302	6,574	1,272	24.0%	7,206	8,968	1,762	24.4%
経費	154,507	171,011	16,504	10.7%	151,325	166,017	14,692	9.7%	167,975	192,146	24,171	14.4%
水道光熱費 (再掲)	44,303	61,925	17,622	39.8%	43,694	60,896	17,203	39.4%	46,881	66,277	19,396	41.4%
電気料金	25,656	38,137	12,481	48.6%	25,068	37,198	12,130	48.4%	28,144	42,109	13,965	49.6%
ガス料金	9,540	14,239	4,699	49.3%	9,448	14,089	4,642	49.1%	9,932	14,822	4,941	49.7%
その他の水道光熱費	9,107	9,549	442	4.9%	9,178	9,609	431	4.7%	8,804	9,294	490	5.6%
控除対象外消費税等負担額	34,568	36,476	1,908	5.5%	34,786	36,456	1,670	4.8%	33,645	36,565	2,919	8.7%
本部費配賦額	14,878	15,211	333	2.2%	15,805	16,355	550	3.5%	10,953	10,369	-583	-5.3%
④ 医業外収益	433,511	390,776	-42,735	-9.9%	440,743	401,831	-38,913	-8.8%	402,900	343,988	-58,912	-14.6%
運営費補助金 (再掲)	205,734	183,293	-22,442	-10.9%	214,067	190,373	-23,694	-11.1%	170,467	153,327	-17,140	-10.1%
施設設備補助金 (再掲)	18,529	15,648	-2,881	-15.5%	19,799	17,194	-2,605	-13.2%	13,155	9,106	-4,049	-30.8%
その他補助金 (再掲)	91,722	80,069	-11,653	-12.7%	94,482	84,841	-9,641	-10.2%	80,044	59,873	-20,171	-25.2%

(表 3) 全病院の医業損益の内訳・100 床あたりの平均

(2) 病床区分別の医業損益

病床区分別の年度比較では、すべての病床区分で医業収益の伸びが医業費用増を下回り、医業利益が減少し、2 期続けて赤字であった。経常利益では医業利益の赤字額を上回る医業外収益により、すべての病床区分で 2 期黒字であった。

2022 年度の一般における稼働 100 床あたり医業利益が－24,460 万円の赤字に対して、経常利益は＋15,118 万円の黒字、損益差額は－18,609 万円であった。コロナ関連の補助金を除く経常利益は－9,318 万円であった。なお、コロナ関連緊急包括支援事業補助金額は 24,436 万円であった (表 4)。

科目 (単位：千円)	一般 (n=447) 平均病床数：358				療養＋ケアミックス (n=158) 平均病床数：159				精神 (n=41) 平均病床数：279				その他 (n=16) 平均病床数：376			
	2021年度	2022年度	差引増減	前年比	2021年度	2022年度	差引増減	前年比	2021年度	2022年度	差引増減	前年比	2021年度	2022年度	差引増減	前年比
① 医業収益	2,970,700	3,055,520	84,819	2.9%	1,403,772	1,431,592	27,821	2.0%	673,950	682,665	8,715	1.3%	1,299,851	1,314,763	14,912	1.1%
② 医業費用	3,179,201	3,300,127	120,926	3.8%	1,421,383	1,465,764	44,381	3.1%	687,549	698,378	10,829	1.6%	1,417,435	1,468,384	50,949	3.6%
③ 医業利益 (①－②)	-208,501	-244,607	-36,106	-3.8%	-17,612	-34,172	-16,560	-13,600	-15,713	-2,114	-117,585	-153,621	-36,036	-36,036	-36,036	-36,036
④ 医業外収益	522,883	466,211	-56,672	-10.8%	100,422	112,665	12,243	12.2%	53,014	57,811	4,798	9.0%	168,041	176,500	8,459	5.0%
⑤ 医業外費用	71,326	70,419	-907	-1.3%	17,096	19,284	2,188	12.8%	11,969	8,174	-3,794	-31.7%	19,731	19,046	-686	-3.5%
⑥ 経常利益 (④＋⑤) - (③＋④)	243,056	151,185	-91,871	-37.8%	65,714	59,209	-6,505	-9.9%	27,446	33,924	6,478	23.6%	30,725	3,333	-26,892	-87.5%
コロナ関連の補助金を除く経常利益 (⑥－⑦)	-60,457	-93,180	-32,722	-53.3%	21,533	3,076	-18,457	-85.7%	11,029	10,338	-691	-6.2%	-43,353	-75,091	-31,738	-73.2%
医業利益率 (③÷①)	-7.0%	-8.0%			-1.3%	-2.4%			-2.0%	-2.3%			-9.0%	-11.7%		
経常利益率 (⑥÷①)	8.2%	4.9%			4.7%	4.1%			4.1%	5.0%			2.4%	0.3%		
⑨ 補助金 (運営・施設・その他) ^{※1}	386,584	337,284	-49,300	-12.8%	63,247	74,640	11,393	18.0%	19,214	24,454	5,240	27.3%	55,761	64,734	8,974	16.1%
⑩ 補助金を除く医業外収益 ^{※2} (④－⑨)	136,299	128,928	-7,372	-5.4%	37,175	38,026	851	2.3%	33,800	33,358	-443	-1.3%	112,280	111,766	-515	-0.5%
⑪ 損益差額 ^{※3} (③＋⑩－⑤)	-143,527	-186,099	-42,571	-29.7%	2,467	-15,431	-17,898	-725.3%	8,232	9,470	1,238	15.0%	-25,036	-60,901	-35,865	-143.2%
⑦ コロナ関連 緊急包括支援事業 補助金	303,514	244,365	-59,149	-19.5%	44,181	56,133	11,952	27.1%	16,417	23,586	7,169	43.6%	74,078	78,925	4,847	6.5%
⑧ 水道光熱費 補助金	21	2,119	2,098	9,990.5%	1	1,793	1,792	179,100%	0	2,083	2,083	2,083	1	838	837	837

(表 4) 病床区分別の医業損益・100 床あたりの平均

(3) 開設主体別 医業損益

開設主体別の医業損益比較では、医業収益の増収割合は国の＋3.8%が最も高く、その他私的が＋1.2%で最も低かった。医業利益の比較では、すべての開設主体で 2 期赤字・減益であった。2022 年度の赤字額は、自治体の－41,182 万円が最も多かった。

医業外収益はすべての開設主体で減収となったが医業利益の赤字額を上回り、経常利益はすべて

の開設主体で 2 期黒字・減益であった。2022 年度ではその他公的の+22,076 万円が最も多かった（表 5）。

科目 (単位：千円)	国 (n=47)				自治体 (n=150)				その他公的 (n=87)			
	2021年度	2022年度	差引増減	前年比	2021年度	2022年度	差引増減	前年比	2021年度	2022年度	差引増減	前年比
① 医業収益	2,730,913	2,833,561	102,648	3.8%	2,783,058	2,863,569	80,512	2.9%	3,131,213	3,215,585	84,372	2.7%
② 医業費用	2,910,750	3,065,562	154,812	5.3%	3,168,956	3,275,394	106,438	3.4%	3,191,972	3,332,664	140,691	4.4%
③ 医業利益 (①-②)	-179,837	-232,001	-52,164		-385,898	-411,824	-25,926		-60,760	-117,079	-56,319	
④ 医業外収益	574,246	475,874	-98,373	-17.1%	689,325	622,039	-67,286	-9.8%	419,295	386,312	-32,983	-7.9%
⑤ 医業外費用	115,667	119,173	3,506	3.0%	98,531	97,592	-939	-1.0%	52,028	48,465	-3,563	-6.8%
⑥ 経常利益 (①+④) - (②+⑤)	278,743	124,700	-154,042		204,897	112,623	-92,274		306,508	220,768	-85,740	
⑦ コロナ関連の補助金を除く経常利益 (⑥-⑦)	-60,782	-131,065	-70,284		-125,183	-143,082	-17,900		13,829	-35,883	-49,712	
医業利益率 (③÷①)	-6.6%	-8.2%			-13.9%	-14.4%			-1.9%	-3.6%		
経常利益率 (⑥÷①)	10.2%	4.4%			7.4%	3.9%			9.8%	6.9%		
⑨ 補助金 (運営・施設・その他) ※1	398,956	308,481	-90,475	-22.7%	490,780	428,795	-61,986	-12.6%	360,132	318,330	-41,802	-11.6%
⑩ 補助金を除く医業外収益 ※2 (④-⑨)	175,291	167,393	-7,898	-4.5%	198,545	193,245	-5,301	-2.7%	59,163	67,982	8,818	14.9%
⑪ 損益差額 ※3 (③+⑩-⑤)	-120,213	-183,780	-63,567		-285,884	-316,172	-30,288		-53,624	-97,562	-43,938	
⑦ コロナ関連 緊急包括支援事業 補助金	339,524	255,766			330,079	255,705			292,678	256,651		
⑧ 水道光熱費 補助金	14	1,724			19	1,977			55	2,759		

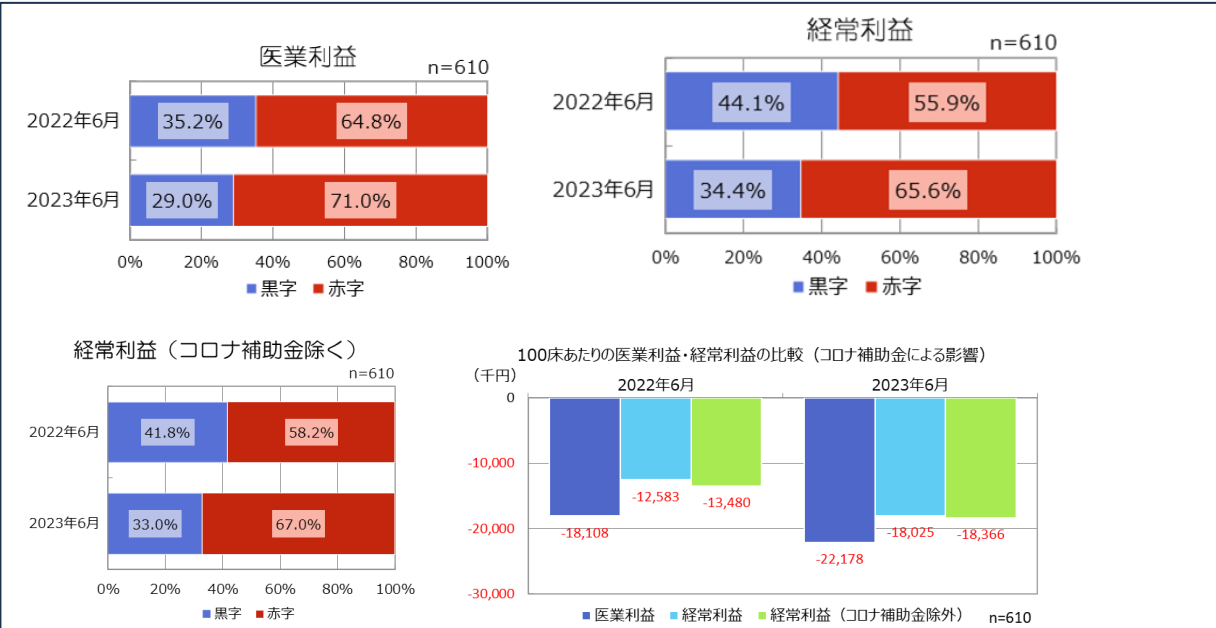
科目 (単位：千円)	医療法人 (n=296)				その他私的 (n=82)			
	2021年度	2022年度	差引増減	前年比	2021年度	2022年度	差引増減	前年比
① 医業収益	1,832,821	1,893,856	61,035	3.3%	3,033,039	3,069,557	36,518	1.2%
② 医業費用	1,836,444	1,912,925	76,481	4.2%	3,204,514	3,275,830	71,316	2.2%
③ 医業利益 (①-②)	-3,623	-19,069	-15,446		-171,475	-206,273	-34,798	
④ 医業外収益	153,323	147,536	-5,787	-3.8%	371,896	334,122	-37,774	-10.2%
⑤ 医業外費用	23,223	19,970	-3,252	-14.0%	21,054	26,518	5,465	26.0%
⑥ 経常利益 (①+④) - (②+⑤)	126,478	108,496	-17,982		179,368	101,331	-78,036	
⑦ コロナ関連の補助金を除く経常利益 (⑥-⑦)	18,853	8,627	-10,226		-64,597	-103,665	-39,068	
医業利益率 (③÷①)	-0.2%	-1.0%			-5.7%	-6.7%		
経常利益率 (⑥÷①)	6.9%	5.7%			5.9%	3.3%		
⑨ 補助金 (運営・施設・その他) ※1	109,070	111,124	2,055	1.9%	252,222	232,239	-19,983	-7.9%
⑩ 補助金を除く医業外収益 ※2 (④-⑨)	44,253	36,411	-7,842	-17.7%	119,675	101,884	-17,791	-14.9%
⑪ 損益差額 ※3 (③+⑩-⑤)	17,408	-2,628	-20,036		-72,854	-130,907	-58,053	
⑦ コロナ関連 緊急包括支援事業 補助金	107,625	99,869			243,965	204,997		
⑧ 水道光熱費 補助金	1	1,870			1	1,898		

（表 5）開設主体別の医業損益・100 床あたりの平均

2. 医業損益の前年同月比較（2022 年 6 月/2023 年 6 月）

（1）医業損益への影響（全病院）

医業利益の比較では、赤字病院割合は 2022 年 6 月期の 64.8%から 2023 年 6 月期には 71.0%へと 6.2 ポイント増加し、経常利益の前年同月比較では、赤字病院割合が 55.9%から 65.6%へと 9.7 ポイント増加していた（図 4）。100 床あたりの医業損益では、2023 年 6 月期で医業利益-2,217 万円、経常利益-1,802 万円であり、コロナ補助金を除く経常利益は-1,802 万円であった（表 6）。



（図 4）医業損益の前年同月比較（2022 年 6 月/2023 年 6 月）

科目 (単位：千円)	全病院 (n=610) 平均病床数：268				2023年6月 黒字病院 (n=210) 平均病床数：215				2023年6月 赤字病院 (n=400) 平均病床数：296			
	2022年6月	2023年6月	差引増減	前年比	2022年6月	2023年6月	差引増減	前年比	2022年6月	2023年6月	差引増減	前年比
① 医業収益	206,849	209,775	2,925	1.4%	166,549	171,854	5,305	3.2%	222,230	224,247	2,017	0.9%
② 医業費用	224,957	231,953	6,996	3.1%	164,758	167,589	2,831	1.7%	247,931	256,517	8,585	3.5%
③ 医業利益 (①-②)	-18,108	-22,178	-4,071		1,791	4,265	2,474		-25,702	-32,270	-6,568	
④ 医業外収益	7,821	6,427	-1,394	-17.8%	4,679	5,085	406	8.7%	9,020	6,939	-2,081	-23.1%
⑤ 医業外費用	2,296	2,274	-22	-1.0%	1,425	1,314	-111	-7.8%	2,629	2,640	12	0.4%
⑥ 経常利益 (①+④)-(②+⑤)	-12,583	-18,025	-5,442		5,045	8,036	2,991		-19,310	-27,971	-8,661	
コロナ関連の補助金を除く経常利益 (⑥-⑦)	-13,480	-18,366	-4,886		4,005	7,247	3,243		-20,153	-28,141	-7,988	
医業利益率 (③÷①)	-8.8%	-10.6%			1.1%	2.5%			-11.6%	-14.4%		
経常利益率 (⑥÷①)	-6.1%	-8.6%			3.0%	4.7%			-8.7%	-12.5%		
⑦ コロナ関連 緊急包括支援事業 入金額	897	341			1,041	789			843	170		
⑧ 水道光熱費関連補助金 入金額	0	49			0	152			0	10		

(表 6) 全病院の医業損益・100 床あたりの平均

(2) 病床区分別の医業損益

病床区分別の医業損益 2 期比較では、一般病院の医業収益は前年比+1.7%、医業費用+3.4%の増加となり、医業利益、経常利益の赤字幅は増加した。2023 年 6 月期の医業利益は-2,846 万円、経常利益は-2,346 万円であった。療養+ケアミックスでは、医業収益が-0.7%、医業費用+1.3%となり、医業利益、経常利益の赤字幅も増加となった。精神では、医業収益が-0.8%、医業費用-0.5%となり医業利益の赤字幅は微増、経常利益も 2 期連続で赤字となっていた (表 7)。

科目 (単位：千円)	一般 (n=378) 平均病床数：314				療養+ケアミックス (n=171) 平均病床数：157				精神 (n=44) 平均病床数：268				その他 (n=17) 平均病床数：367			
	2022年6月	2023年6月	差引増減	前年比	2022年6月	2023年6月	差引増減	前年比	2022年6月	2023年6月	差引増減	前年比	2022年6月	2023年6月	差引増減	前年比
① 医業収益	246,315	250,504	4,189	1.7%	114,184	113,397	-787	-0.7%	65,933	65,385	-548	-0.8%	119,117	120,462	1,345	1.1%
② 医業費用	269,772	278,967	9,195	3.4%	117,379	118,866	1,487	1.3%	68,199	67,879	-320	-0.5%	129,275	131,846	2,570	2.0%
③ 医業利益 (①-②)	-23,457	-28,462	-5,006		-3,195	-5,469	-2,274		-2,267	-2,495	-228		-10,158	-11,384	-1,226	
④ 医業外収益	9,596	7,875	-1,721	-17.9%	3,201	2,275	-926	-28.9%	1,676	1,862	185	11.0%	5,464	5,305	-159	-2.9%
⑤ 医業外費用	2,886	2,878	-9	-0.3%	807	768	-39	-4.8%	411	385	-26	-6.4%	1,005	805	-200	-19.9%
⑥ 経常利益 (①+④)-(②+⑤)	-16,747	-23,465	-6,718		-801	-3,963	-3,162		-1,002	-1,018	-16		-5,699	-6,883	-1,184	
コロナ関連の補助金を除く経常利益 (⑥-⑦)	-17,730	-23,769	-6,039		-1,520	-4,569	-3,049		-1,087	-1,025	62		-7,276	-7,437	-161	
医業利益率 (③÷①)	-9.5%	-11.4%			-2.8%	-4.8%			-3.4%	-3.8%			-8.5%	-9.4%		
経常利益率 (⑥÷①)	-6.8%	-9.4%			-0.7%	-3.5%			-1.5%	-1.6%			-4.8%	-5.7%		
⑦ コロナ関連 緊急包括支援事業 入金額	982	303			719	606			85	7			1,577	554		
⑧ 水道光熱費関連補助金 入金額	0	23			0	118			0	176			0	0		

(表 7) 病床区分別の医業損益・100 床あたりの平均

(3) 開設主体別 医業損益

医業損益の開設主体別の 2 期比較では、すべての開設主体で医業利益が 2 期赤字となっていた。経常利益では医療法人が黒字から赤字になり、2023 年 6 月はすべての開設主体で赤字となった。医業利益の赤字額では、自治体の-4,761 万円が最大で、最小は医療法人の-416 万円であった。経常利益は、自治体の-3,684 万円が赤字額の最大であった。コロナ関連緊急包括支援事業補助金入金額は、医療法人の 56 万円が最も多かった。医業費用はすべての開設主体で増額となり、自治体が+4.2%と最も増加、医療法人+1.8%と最も少ない増加であった (表 8)。

科目 (単位：千円)	国 (n=37) 平均病床数：399				自治体 (n=104) 平均病床数：366				その他公的 (n=91) 平均病床数：362				医療法人 (n=299) 平均病床数：176				その他私的 (n=79) 平均病床数：318			
	2022年6月	2023年6月	差引増減	前年比	2022年6月	2023年6月	差引増減	前年比	2022年6月	2023年6月	差引増減	前年比	2022年6月	2023年6月	差引増減	前年比	2022年6月	2023年6月	差引増減	前年比
① 医業収益	233,561	244,901	11,340	4.9%	227,800	231,012	3,213	1.4%	252,892	257,064	4,172	1.6%	138,196	138,005	-191	-0.1%	243,151	245,609	2,458	1.0%
② 医業費用	256,016	264,729	8,713	3.4%	267,504	278,629	11,125	4.2%	270,848	277,651	6,803	2.5%	139,650	142,166	2,516	1.8%	261,184	270,579	9,395	3.6%
③ 医業利益 (①-②)	-22,455	-19,828	2,627		-39,704	-47,617	-7,913		-17,956	-20,587	-2,631		-1,454	-4,161	-2,707		-18,033	-24,970	-6,937	
④ 医業外収益	8,550	8,351	-199	-2.3%	14,353	14,063	-290	-2.0%	5,610	4,875	-735	-13.1%	3,428	2,392	-1,036	-30.2%	9,631	4,252	-5,379	-55.9%
⑤ 医業外費用	6,847	7,068	221	3.2%	3,215	3,291	76	2.4%	1,922	1,925	4	0.2%	1,028	954	-74	-7.2%	1,387	1,149	-238	-17.2%
⑥ 経常利益 (①+④)-(②+⑤)	-20,753	-18,545	2,208		-28,566	-36,844	-8,278		-14,268	-17,638	-3,369		946	-2,724	-3,670		-9,790	-21,868	-12,078	
コロナ関連の補助金を除く経常利益 (⑥-⑦)	-20,873	-18,577	2,296		-29,554	-37,315	-7,761		-14,810	-17,873	-3,063		-421	-3,284	-2,863		-10,428	-21,871	-11,443	
医業利益率 (③÷①)	-9.6%	-8.1%			-17.4%	-20.6%			-7.1%	-8.0%			-1.1%	-3.0%			-7.4%	-10.2%		
経常利益率 (⑥÷①)	-8.9%	-7.6%			-12.5%	-15.9%			-5.6%	-6.9%			0.7%	-2.0%			-4.0%	-8.9%		
⑦ コロナ関連 緊急包括支援事業 入金額	220	31			988	471			541	235			1,367	560			639	4		
⑧ 水道光熱費関連補助金 入金額	0	0			0	0			0	148			0	59			0	1		

(表 8) 開設主体別の医業損益・100 床あたりの平均

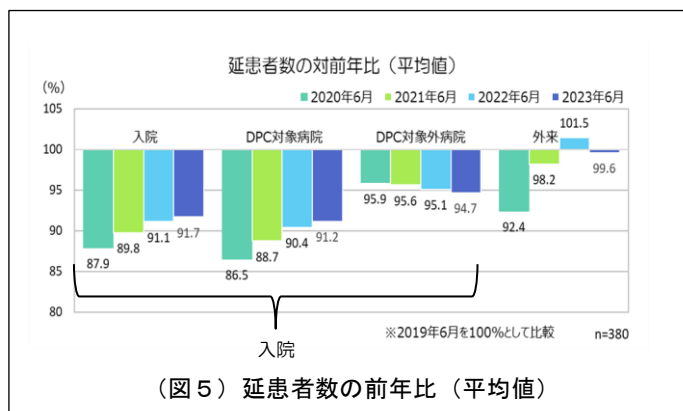
VI. 5年連続比較《参考》

1. 延患者数、診療単価、診療収益（新型コロナウイルス感染拡大による影響）

（2019年6月/2020年6月/2021年6月/2022年6月/2023年6月）

（1）延患者数の対前年比 同月比較

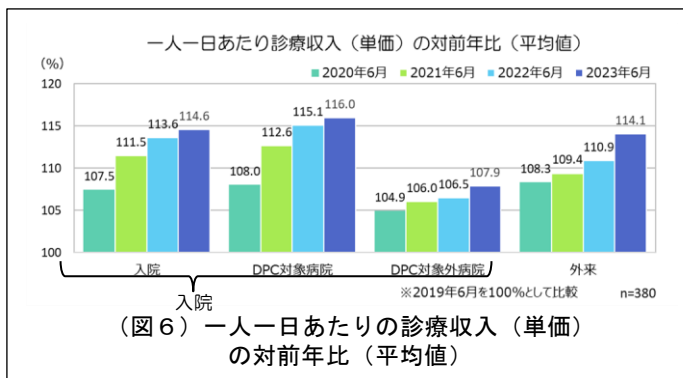
延患者数について2019年6月を100%として5年連続同月比較では、入院患者数は2020年6月は87.9%であったが、2021年89.8%、2022年91.1%、2023年91.7%と対前年比はマイナスの中でも年々増加傾向であった。外来患者数は2020年の92.4%から2022年101.5%へと増加したが、2023年は99.6%に減少し2019年を下回った（図5）。



（図5）延患者数の前年比（平均値）

（2）一人一日あたりの診療収入（単価）の対前年比 同月比較

診療単価について2019年6月期を100%とした5年連続同月比較では、入院単価は2020年の107.5%から111.5%、113.6%、114.6%と年々増加し、外来単価は、2020年の108.3%から2022年110.9%、2023年には114.1%へと増加していた（図6）。

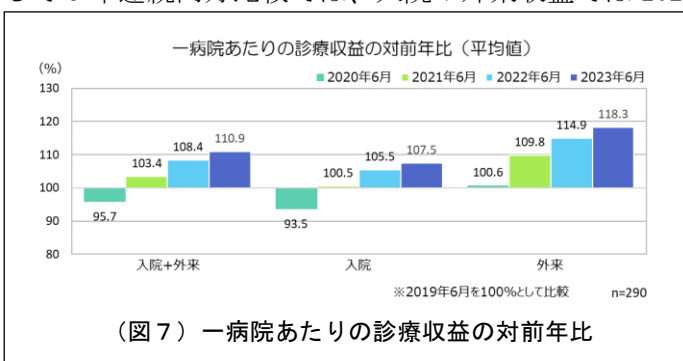


（図6）一人一日あたりの診療収入（単価）の対前年比（平均値）

（3）一病院あたりの診療収益の対前年比

診療収益について2019年6月を100%として5年連続同月比較では、入院＋外来収益では2020年に減収となったが、2021年以降は増収に転じ、2022年は110.9%であった。

入院収益は、2020年に93.5%であったが、2021年100.5%、2023年には107.5%へと増加し、外来収益は、2020年100.6%から2021年109.8%に、2023年は118.3%であった（図7）。

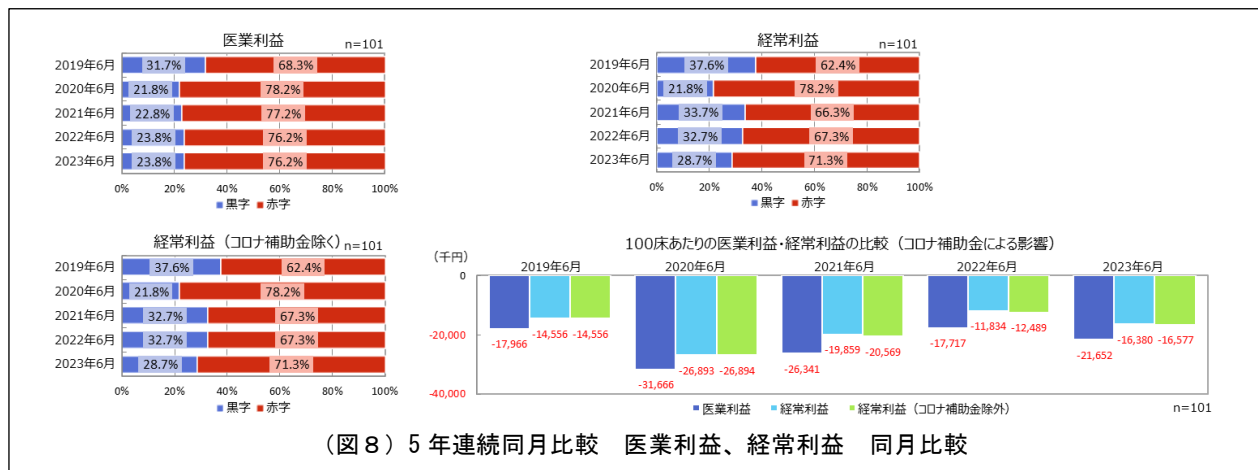


（図7）一病院あたりの診療収益の対前年比

(4) 5年連続同月比較 医業利益、経常利益(新型コロナウイルス感染拡大による影響)

医業利益の赤字病院割合は、2019年 68.3%より2020年は78.2%に増加し、2021年 77.2%、2022年・2023年 76.2%とほぼ横ばいで推移し、4年連続で70%台後半の赤字割合であった。

経常利益の赤字病院割合では、2019年は62.4%より2020年は78.2%に急増し、2021年 66.3%、2022年 67.3%と回復がみられたが、2023年には71.3%へと増加していた(図8)。

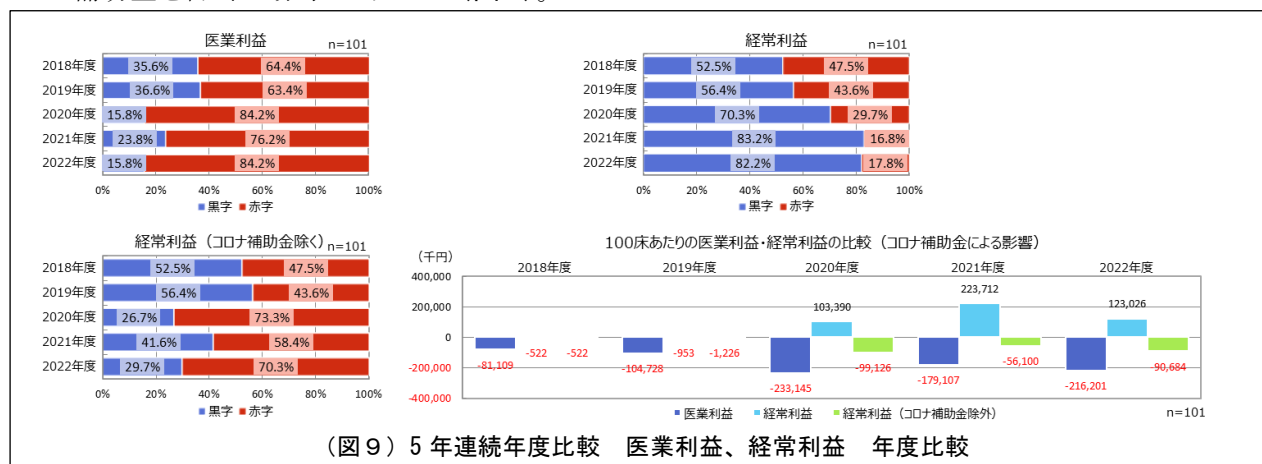


2. 医業損益(新型コロナウイルス感染拡大による影響)の年度比較

(2018年度/2019年度/2020年度/2021年度/2022年度)

(1) 5年連続年度比較 医業利益、経常利益 年度比較

医業利益の赤字病院割合は、2018年度、2019年が60%台から2020年度に84.2%に急増し、2021年度 76.2%、2022年度 84.2%へと再び増加した。経常利益は黒字病院割合が2018年度、2019年度は50%台であったが、2020年度には70.3%へと大幅に増加し、2021年度 83.2%、2022年度は82.2%であった。一方で、緊急包括支援事業等コロナ関連の補助金を除くと経常利益の赤字病院割合は、2020年度では経常利益の赤字病院割合が29.7%から73.3%に、2021年度は同16.8%から58.4%、2022年度は同17.8%から70.3%へと大幅に増加していた。また、100床あたりの経常利益は2020年度、2021年度、2022年度で3期黒字となったが、コロナ関連の補助金を除くと赤字であった(図9)。



(2) 一病院あたりの損益

一病院あたりの医業利益は5年続けて赤字となり、赤字額は2018年度の-27,939万円から2020年度には-80,312万円に大幅に増加し、2021年度は-61,708万円に若干の減少がみられたが2022年度には-74,488万円へと再び増加に転じた。

医業収益では、2020年度が最少、2022年度が医業収益、医業費用ともに最大であった。

経常利益では、2018年度、2019年度が赤字、2020年度以降は補助金を含む医業外収益の増収により黒字となっていた。(表9)。

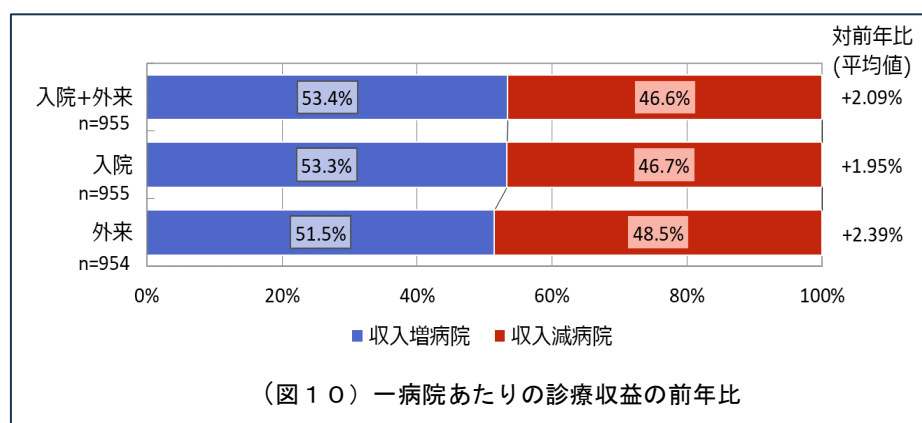
科目 (単位：千円)	一病院あたりの損益					100床あたりの平均					n=101			
	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	対2018年 比	対2019年 比	対2020年 比	対2021年 比
①医業収益	9,156,791	9,414,031	8,938,188	9,427,823	9,629,025	2,658,185	2,732,861	2,594,726	2,736,393	2,794,791	5.1%	2.3%	7.7%	2.1%
②医業費用	9,436,190	9,774,794	9,741,314	10,044,910	10,373,913	2,739,294	2,837,590	2,827,870	2,915,501	3,010,993	9.9%	6.1%	6.5%	3.3%
③医業利益 (①-②)	-279,399	-360,763	-803,125	-617,087	-744,888	-81,109	-104,728	-233,145	-179,107	-216,201				
④医業外収益	510,718	539,708	1,332,400	1,572,357	1,349,988	148,260	156,675	386,791	456,371	391,829	164.3%	150.1%	1.3%	-14.1%
⑤医業外費用	233,118	182,227	173,124	184,504	181,234	67,673	52,900	50,257	53,552	52,603	-22.3%	-0.6%	4.7%	-1.8%
⑥経常利益 (①+④)-(②+⑤)	-1,800	-3,283	356,151	770,767	423,866	-522	-953	103,390	223,712	123,026				
コロナ関連の補助金を除く経常利益 (⑥-⑦)	-1,800	-4,224	-341,466	-193,284	-312,438	-522	-1,226	-99,126	-56,100	-90,684				
医業利益率 (③÷①)	-3.1%	-3.8%	-9.0%	-6.5%	-7.7%	-3.1%	-3.8%	-9.0%	-6.5%	-7.7%				
経常利益率 (⑥÷①)	-0.0%	-0.0%	4.0%	8.2%	4.4%	-0.0%	-0.0%	4.0%	8.2%	4.4%				
⑨補助金 (運営・施設・その他) ※1	287,575	312,945	1,113,978	1,316,778	1,071,887	83,482	90,847	323,384	382,190	311,112	272.7%	242.5%	-3.8%	-18.6%
⑩補助金を除く医業外収益 ※2 (④-⑨)	223,142	226,762	218,423	255,579	278,101	64,777	65,828	63,407	74,181	80,718	24.6%	22.6%	27.3%	8.8%
⑪損益差額 ※3 (③+⑩-⑤)	-289,375	-316,228	-757,826	-546,011	-648,021	-84,005	-91,800	-219,994	-158,478	-188,086				
⑦コロナ関連 緊急包括支援事業 補助金		941	697,617	964,051	736,304		273	202,516	279,812	213,710				
⑧水道光熱費 補助金				0	6,817				0	1,979				

(表9) 一病院あたりの損益・100床あたりの平均

VII. 診療収益・診療単価・延患者数の前年同月比較 (2022年6月/2023年6月)

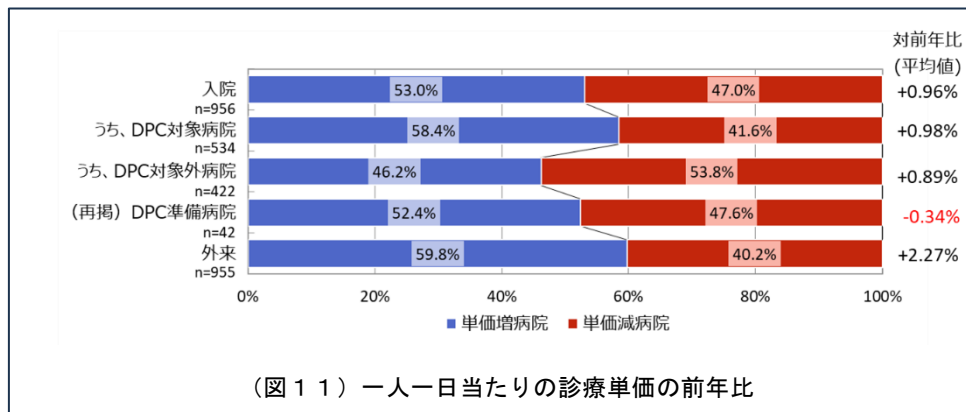
(1) 一病院あたりの診療収益の前年比

入院+外来の診療収益は53.4%の病院が増収、対前年比は+2.09%であった。入院、外来診療収益の増収病院割合は、入院が53.3%、外来が51.5%となっていた。対前年比は、入院+1.95%、外来+2.39%であった(図10)。



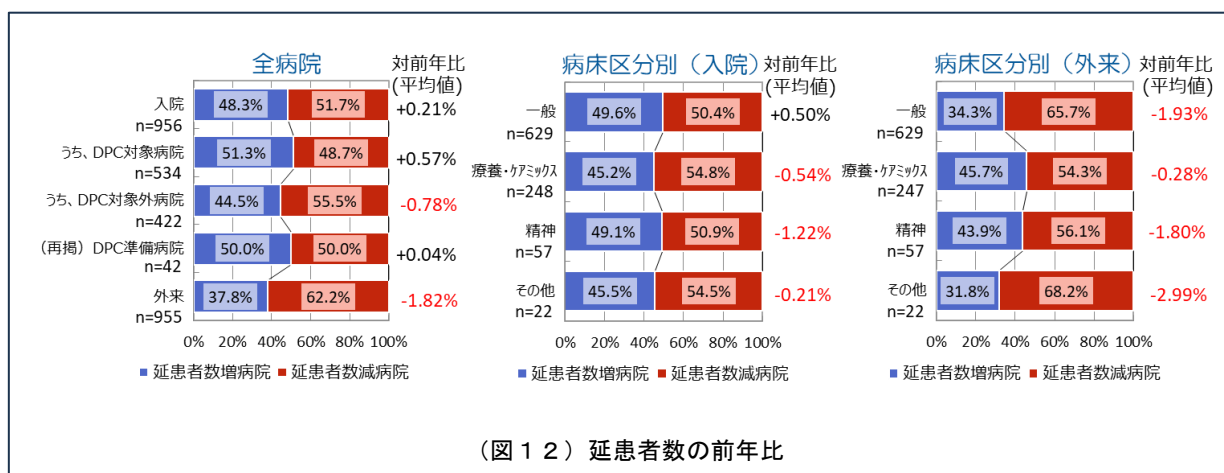
(2) 一人一日あたりの診療単価の前年比

診療単価増病院の割合は、入院53.0% (うちDPC対象病院58.4%、DPC対象外病院46.2%)、外来59.8%であった。対前年比(平均値)では、入院全体で+0.96% (DPC対象病院+0.98%、DPC対象外病院+0.89%)、外来は+2.27%の単価増となっていた(図11)。



(3) 延患者数の前年比

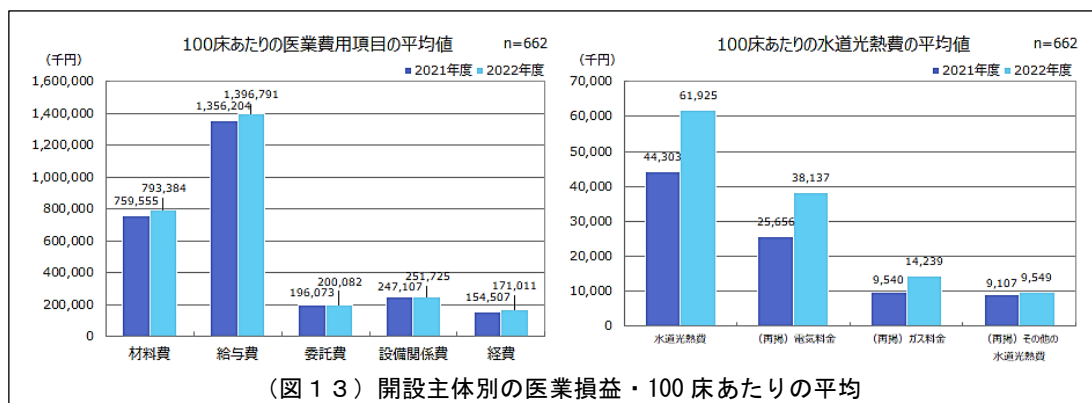
延患者数増病院の割合は、入院 48.3% (DPC 対象病院 51.3%)、外来 37.8%であった。対前年比は、入院+0.21% (DPC 対象病院+0.57%)、外来-1.82%であった (図 12)。



Ⅷ. その他

(1) 水道光熱費等の比較 (2021 年度および 2022 年度)

100 床あたりの医業費用項目の平均値では、すべての科目で 2021 年度より 2022 年度は増加していた。また、経費のうち水道光熱費は 1,762 万円 (前年比+39.8%) 増加していた。水道光熱費の内訳では電気料金が前年比+48.6%、ガス料金+49.3%、その他の水道光熱費+4.9%とすべてが増加、金額では電気料金が+1,248 万円で最も増加し、ガス料金が+469 万円であった (図 13、表 10)。



科目 (単位：千円)	全病院 (n=662) 平均病床数：306			
	2021年度	2022年度	差引増減	前年比
①医業収益	2,597,395	2,668,785	71,389	2.7%
入院診療収入	1,707,621	1,755,964	48,343	2.8%
室料差額収益	33,551	32,922	-629	-1.9%
外来診療収入	776,363	801,872	25,509	3.3%
その他医業収入	79,860	78,026	-1,834	-2.3%
②医業費用	2,768,557	2,871,711	103,154	3.7%
材料費	759,555	793,384	33,829	4.5%
医薬品費 (再掲)	448,568	473,577	25,009	5.6%
診療材料費 (再掲)	285,238	293,224	7,986	2.8%
給与費	1,356,204	1,396,791	40,587	3.0%
委託費	196,073	200,082	4,009	2.0%
設備関係費	247,107	251,725	4,617	1.9%
減価償却費 (再掲)	165,076	166,965	1,889	1.1%
研究研修費	5,666	7,031	1,365	24.1%
経費	154,507	171,011	16,504	10.7%
水道光熱費 (再掲)	44,303	61,925	17,622	39.8%
電気料金	25,656	38,137	12,481	48.6%
ガス料金	9,540	14,239	4,699	49.3%
その他の水道光熱費	9,107	9,549	442	4.9%
控除対象外消費税等負担額	34,568	36,476	1,908	5.5%
本部費配賦額	14,878	15,211	333	2.2%
④医業外収益	433,511	390,776	-42,735	-9.9%
運営費補助金 (再掲)	205,734	183,293	-22,442	-10.9%
施設設備補助金 (再掲)	18,529	15,648	-2,881	-15.5%
その他補助金 (再掲)	91,722	80,069	-11,653	-12.7%

(表 10) 医業損益 年度比較 (2021 年度/2022 年度) 100 床あたりの平均

(2) 水道光熱費等の比較 (2022 年および 2023 年度 4 月～6 月分)

2022 年および 2023 年の各 4 月～6 月の 3 か月集計では、医業収益が前年比+2.0%に対して医業費用+2.8%となり、医業費用の伸びが医業収益を上回っていた。医業費用の内訳では、材料費+5.2% (医薬品費+6.8%)、経費+6.6% (水道光熱費+8.0%、電気料金+15.8%) の伸びが大きく、給与費の増加をはじめ医業費用の増加傾向が続き、病院経営を大きく圧迫している (図 13、表 11)。

n=333					n=333				
科目 (単位：千円)	100床あたりの平均				科目 (単位：千円)	100床あたりの平均			
	2022年4月	2022年5月	2022年6月	合計(A)		2023年4月	2023年5月	2023年6月	合計(B) (=(B-A)/A)
①医業収益	184,463	186,686	195,836	566,985	①医業収益	187,008	192,836	198,391	578,235
入院診療収入	124,346	126,233	129,895	380,474	入院診療収入	126,341	130,311	131,727	388,379
室料差額収益	2,895	2,930	2,997	8,822	室料差額収益	2,857	2,966	3,010	8,833
外来診療収入	51,908	51,826	55,550	159,284	外来診療収入	52,006	53,279	56,439	161,724
その他医業収入	5,314	5,697	7,395	18,406	その他医業収入	5,805	6,280	7,215	19,299
②医業費用	199,888	196,334	211,828	608,049	②医業費用	204,486	203,444	217,221	625,151
材料費	51,765	48,186	52,011	151,962	材料費	52,987	51,620	55,231	159,837
医薬品費 (再掲)	30,314	27,705	29,318	87,336	医薬品費 (再掲)	31,038	30,225	32,028	93,291
診療材料費 (再掲)	19,359	18,505	20,528	58,391	診療材料費 (再掲)	19,582	19,106	20,867	59,556
給与費	100,784	102,037	111,213	314,034	給与費	102,559	104,161	112,430	319,150
委託費	13,710	13,776	14,370	41,856	委託費	13,905	14,321	14,621	42,847
設備関係費	17,897	17,886	19,114	54,897	設備関係費	18,227	17,895	19,147	55,269
減価償却費 (再掲)	11,341	11,334	11,992	34,666	減価償却費 (再掲)	11,387	11,457	12,121	34,966
研究研修費	656	345	413	1,414	研究研修費	758	420	468	1,646
経費	12,068	11,219	11,743	35,030	経費	12,980	12,079	12,285	37,344
水道光熱費 (再掲)	3,358	3,542	3,795	10,695	水道光熱費 (再掲)	3,792	3,895	3,869	11,555
電気料金	2,016	2,165	2,332	6,513	電気料金	2,482	2,557	2,503	7,542
ガス料金	721	684	770	2,175	ガス料金	709	667	700	2,076
その他の水道光熱費	621	693	693	2,007	その他の水道光熱費	601	671	666	1,938
控除対象外消費税等負担額	2,001	1,883	1,980	5,864	控除対象外消費税等負担額	2,025	1,939	2,027	5,991
本部費配賦額	1,007	1,001	984	2,992	本部費配賦額	1,045	1,010	1,011	3,067
③医業利益 (①-②)	-15,425	-9,648	-15,992	-41,064	③医業利益 (①-②)	-17,478	-10,608	-18,830	-46,916
④医業外収益	6,311	6,857	7,319	20,487	④医業外収益	6,836	6,969	6,525	20,330
⑤医業外費用	2,575	2,735	2,190	7,500	⑤医業外費用	2,679	2,746	2,280	7,705
⑥経常利益 ((①+④) - (②+⑤))	-11,688	-5,526	-10,863	-28,077	⑥経常利益 ((①+④) - (②+⑤))	-13,321	-6,386	-14,584	-34,291
コロナ関連の補助金を除く経常利益 (⑥-⑦)	-12,081	-6,326	-11,534	-29,941	コロナ関連の補助金を除く経常利益 (⑥-⑦)	-13,829	-7,371	-14,783	-35,983
医業利益率 (③+①)	-8.4%	-5.2%	-8.2%	-7.2%	医業利益率 (③+①)	-9.3%	-5.5%	-9.5%	-8.1%
経常利益率 (⑥+①)	-6.3%	-3.0%	-5.5%	-5.0%	経常利益率 (⑥+①)	-7.1%	-3.3%	-7.4%	-5.9%
⑦コロナ関連 緊急包括支援事業 入金額	392	800	671	1,864	⑦コロナ関連 緊急包括支援事業 入金額	508	985	199	1,692
⑧水道光熱費関連補助金 入金額	0	0	0	0	⑧水道光熱費関連補助金 入金額	0	25	59	85

(表 11) 医業損益 3 か月比較 (2020 年/2023 年 4 月～6 月) 100 床あたりの平均

IX. 名簿

一般社団法人	日本病院会	会長	相澤 孝夫
公益社団法人	全日本病院協会	会長	猪口 雄二
一般社団法人	日本医療法人協会	会長	加納 繁照

<病院団体合同調査ワーキンググループ>

日本病院会	副会長		島 弘志
日本病院会	診療報酬作業小委員会	委員長	永易 卓
日本病院会	診療報酬作業小委員会	委員	中山 和則(代理)
日本病院会	診療報酬作業小委員会	委員	原口 博(代理)
全日本病院協会	医療保険・診療報酬委員会	委員長	津留 英智
全日本病院協会	医療保険・診療報酬委員会	副委員長	太田 圭洋
全日本病院協会	医療保険・診療報酬委員会	委員	西本 育夫
日本医療法人協会	副会長		太田 圭洋

<日本病院会 診療報酬検討委員会>

委員長	島 弘志	新古賀病院	総病院長
副委員長	岡 俊明	聖隷浜松病院	病院長
委員	梶川 昌二	諏訪赤十字病院	病院長
	北村 立	石川県立こころの病院	病院長
	富満 弘之	JA とりで総合医療センター	院長
	牧野 憲一	旭川赤十字病院	病院長
	松本 隆利	八千代病院	名誉院長
	永易 卓	若弘会本部	理事・総務部長
	須貝 和則	国立国際医療研究センター	医事管理課 課長

＜全日本病院協会 医療保険・診療報酬委員会＞

委員長	津留 英智	宗像水光会総合病院	理事長
副委員長	太田 圭洋	名古屋記念病院	理事長
委員	田蔭 正治	たまき青空病院	理事長
	濱砂 カヨ	宮崎善仁会病院	理事長
	丸山 泰幸	岩槻南病院	理事長・院長
	西本 育夫	横浜メディカルグループ	業務部長
	増田 好美	新生会第一病院	医事課長

＜日本医療法人協会 医療・介護保険・地域包括ケア部会＞

部会長	関 健	城西病院	理事長・総長
部会員	太田 圭洋	名古屋記念病院	理事長
	西村 直久	西部総合病院	理事長
	金澤 知徳	青磁野リハビリテーション病院	理事長
	佐能 量雄	光生病院	理事長
	高橋 幹治	片倉病院	理事長
	谷本 康信	本郷中央病院	病院長
	鬼塚 一郎	田主丸中央病院	理事長
	田辺 裕久	朝倉病院	理事長
	武田 隆久	武田総合病院	理事長
	武田 敏也	京都武田病院	理事長

＜日本病院会 診療報酬作業小委員会＞

委員長	永易 卓	若弘会本部	理事・総務部長
副委員長	佐合 茂樹	中部国際医療センター	病院長補佐・事務長
委員	荒井 康夫	北里大学病院	医療支援部 診療情報管理室 課長
	池田 隆一	相澤東病院	事務長・医療連携センター センター長
	北澤 将	国家公務員共済連合会	病院部経営指導第一課 課長
	中山 和則	筑波メディカルセンター病院	副院長・事務部長
	原口 博	公立昭和病院	事務局長
	平井 幸彦	新古賀病院	診療情報管理室 統括課長
特別委員	田畑 久美	沼津中央病院	事務部長